

# 2022

## ミニディスクロージャー誌

～ J A 事業のご報告（令和4年8月期）～

### 1. 組合長挨拶



組合員の皆様には、日頃より、J A 事業に対しまして特段のご指導・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和4年度上期を振り返りますと、一昨年からの新型コロナウイルス感染症感染拡大・ロシアウクライナ情勢・円安の影響を受けるなど、厳しい環境下での事業展開となりました。

農業への影響も非常に大きく、コロナ禍で外食産業は低迷し、米については大幅な需給緩和を招き、さらに、ロシアウクライナ情勢・円安等の影響を受け、資材や燃油等の

価格は高騰することとなりました。

そのような状況の中、J A グループを挙げて作付転換に取り組んだことで、米の需給緩和は継続しているものの、令和4年産米の概算金については、昨年を上回る結果となりました。管内においても、生産者の皆様にご協力をいただき、作付転換の推進を図っておりますが、民間在庫は受給均衡とされる量を上回ると見込まれるため、次年度以降も取り組みを継続していく必要があります。J A グループとしても政府・県に対し、「農業施策・予算に関する要請」を8月に実施し、高騰する資材価格や米の消費拡大等への対策に努めております。

農業環境は厳しさを増しておりますが、産地の農業生産を維持・拡大させるため、新規就農者の確保対策や、生産者の農業労働力支援、生産資材コスト低減に繋がる取り組み等を積極的に実施してまいります。また、J A はが野が総合事業を営む農業協同組合として、組合員・地域のために継続して機能を発揮するため、持続可能な経営基盤確立・強化への取り組みは極めて重要となっていることから、経済事業を中心とした収支改善に引き続き取り組んでまいります。

本年度は、「持続可能な農業・地域共生の未来をめざして3か年計画」の1年目となるため、「農業者の所得増大・農業生産の拡大」「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」「健全な経営・財務基盤の強化」の3つの基本方針に基づき、役職員一丸となって事業に取り組むとともに、組合員・地域の皆様との対話を進め、自己改革の達成に向け全力を挙げて取り組む所存です。

ディスクロージャー誌の作成にあたっては、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当J A の主な事業の内容や経営の内容などについて、わかりやすくまとめました。

皆様が、当J A の事業をさらにご利用いただくための一助として是非ご一読いただきますとともに、今後も一層のご理解とご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年 10 月  
はが野農業協同組合

代表理事組合長 国府田 厚志

## 2. 農業振興活動

当JAでは3か年計画で掲げた「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」に向け、以下をはじめとする様々な取り組みを実施しています。

### 1. 生産コスト削減の取り組み

生産コスト削減の取り組みとして、水稻農薬大型規格・担い手規格の普及に継続して取り組んでいます。今後も全農との共同協議や市況調査を継続し、引き続き生産コストの低減に努めてまいります。

また、今年も茎葉除草剤のセールを行いました。抵抗性のでてきた草にも効果のある除草剤大型ボトルを特別価格で販売し、散布後の抜き取り作業もなくなり、コスト削減とともに労力削減にも努めました。

### 2. 農業者の所得増大の取り組み

生産者から農産物を原料買取し、消費者ニーズに対応した多様な商品にパッケージし、付加価値を付けて出荷しているパッケージセンターでは、8月末の実績が前年対比104.4%となりました。この直販の拡大も後押しし、令和4年産イチゴの販売額は102億円を突破して、過去最高記録となりました。

### 3. 産地間連携

JAうつのみや・JAしおのや・JAしもつけの協力のもと、各JA管内の直売所でメロン「タカミ」と「クインシー」の販売を行いました。新型コロナウイルスの影響で、毎年恒例のメロン祭りが中止となり、生産者の所得向上を目指した新たな販売ステージへの挑戦として行いました。また、はが野の直売所ではJAしおのや産の「タンタンえだまめ」やJAしもつけ産の「ぶどう」を販売しました。今後も他JAと協力し、産地間連携の強化を図り、農業者の所得増大に努めます。

## 3. 地域貢献情報

### ●地域貢献に対する考え方

当JAは芳賀郡市の1市4町（真岡市・益子町・茂木町・市貝町・芳賀町）を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助を共通の理念として運営される協同組織です。当JAの資金はその大半が組合員の皆様などからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としています。当JAでは資金を必要とする組合員の皆様や地方公共団体などにもご利用いただいています。

当JAは、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて事業活動を展開しています。また、JAの総合事業を通じて地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

当JAでは、平成26年に事業継続計画（BCP）における基本方針（大規模災害に対する対応方針）を策定し、定期的に訓練を行うなど、災害時においても事業継続を行うことに最大限努めております。

組合員及び出資金の推移

		令和4年8月末	令和4年2月末
ア. 組合員数	正組合員	15,008人	15,101人
	准組合員	4,872人	4,805人
	合計	19,880人	19,906人
イ. 組合員戸数	正組合員戸数	12,753戸	12,835戸
	准組合員戸数	3,914戸	3,887戸
	合計	16,667戸	16,722戸
ウ. 出資金		3,960百万円	3,960百万円

●地域からの資金調達状況（8月末）

貯金・積金平均残高

組合員等	154,808百万円
その他	36,920百万円
合計	191,729百万円

（注）左記「組合員等」には、地方公共団体等からの貯金・積金2,232百万円が含まれています。

●地域への資金供給状況（8月末）

（1）貸出金平均残高

組合員等	27,737百万円
その他	9,515百万円
合計	37,252百万円

（注）左記「その他」には、地方公共団体等への貸出金7,181百万円が含まれています。

（2）融資取扱状況（平均残高）

住宅ローン	22,079百万円
教育ローン	115百万円
自動車ローン	1,101百万円
営農ローン	442百万円
農業資金	1,701百万円
日本政策金融公庫資金	—
農業近代化資金	501百万円
畜産特別資金	—
災害条例資金	1百万円
その他制度資金	5百万円
その他	11,282百万円
合計	37,252百万円

（注）左記のうち「日本政策金融公庫資金、農業近代化資金、畜産特別資金、災害条例資金等」は、制度融資といい、農業生産の振興や農業後継者の育成などを目的に、国等が一定の制度に基づいて行う金融のことを言います。制度融資には大別して、国・県の財政資金による融資と、JA資金を原資として融資を行い、国、地方公共団体、JAが利子補給を行う制度があります。前者の代表的なものは日本政策金融公庫資金（農業改良資金、就農支援資金含む）であり、後者の代表的なものは農業近代化資金、畜産特別資金となっています。

## ●文化的・社会的貢献に関する事項（地域との繋がり）

J Aは農業者が中心となって構成され、地域農業の振興を図り、消費者に安全で安心な農畜産物を安定的に供給することを基本使命としています。このため、農業関連を中心とした総合的な事業を展開しております。組合員以外の一般の方にも各種事業を利用させていただくことにより、地域経済・社会の発展に寄与する社会的責任、金融機関の一員として信用の維持・貯金者の保護を確保する公共的使命などを果たしています。

### （1）地域住民との交流

次代を担う児童・生徒たちに対しては、学校給食への地元農畜産物の提供、図画・作文コンクールの開催、社会科副読本の提供、「未来ちゃんクラブ」\*による田植えや収穫作業といった農作業体験を通じて、農業への関心を高める取り組みを行っています。また、貸農園での農業体験や直売所での地元農産物の販売などにより地域住民との交流に努めています。

### （2）くらしの活動

組合員相互の親睦を図るとともに、地域の皆さまとの結びつきを強化するため、くらしの活動を展開し、J Aまつり\*や趣味の会、女性大学\*を開催するなど、利用者ネットワークづくりへの取り組みを進めています。

また令和4年5月より、農業体験を通じて農業や国産農畜産物への理解や、J Aとの関係強化を目的に、「男前クラブ」を開講しました。

### （3）情報発信活動

組合員の皆様向けに、毎月広報誌「ベリーネットはが野」を発行して、J Aの事業や地域の情報を発信しています。あわせて、インターネット上にホームページを開設して身近でタイムリーな情報発信に努めています。

また、各地区が「地区だより」を発行し、独自の地域情報を発信しています。

L I N Eを活用した情報発信では、お得なイベント情報やはが野の旬の農産物が当たる抽選を随時開催しています。さらに、L I N Eの速報性を活用し、米施設の臨時稼働や自然災害等への対策情報などの緊急情報も、リアルタイムで発信しています。是非ご登録ください。



ホームページアドレス <https://www.ja-hagano.or.jp>

登録QRコード

### （4）地方創生に関する事項

芳賀郡市内の1市4町（真岡市・益子町・茂木町・市貝町・芳賀町）との「包括連携協定」を締結し、地方創生推進により地域の活性化に取り組んでいます。

（注）※印に関しては、新型コロナウイルスの影響で中止・延期・縮小している活動内容があります。

### （5）店舗体制

店舗及び事務所名	住 所	電話番号	ATM設置台数
本店	〒321-4303 真岡市八条95	0285-83-7725	ATM 0台
真岡支店	〒321-4308 真岡市中郷219-1	0285-84-6611	ATM 2台
二宮支店	〒321-4521 真岡市久下田1710-1	0285-74-0020	ATM 2台
益子支店	〒321-4217 益子町益子1994-5	0285-72-3246	ATM 2台
茂木支店	〒321-3564 茂木町増井33-2	0285-63-1105	ATM 2台
市貝支店	〒321-3423 市貝町市塙1226	0285-68-1311	ATM 1台
芳賀支店	〒321-3307 芳賀町祖母井南1-2-1	028-677-0080	ATM 2台

#### 4. 農協法に基づく開示債権の状況 及び金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況

(単位：百万円)

債権区分		債権額	保全額				
			担保	保証	引当	合計	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和4年2月末	294	161	50	81	294	
	令和4年8月末	295	161	59	74	295	
危険債権	令和4年2月末	281	34	154	91	280	
	令和4年8月末	289	29	169	91	289	
要管理債権	令和4年2月末	-	-	-	-	-	
	令和4年8月末	-	-	-	-	-	
	三月以上延滞債権	令和4年2月末	-	-	-	-	-
		令和4年8月末	-	-	-	-	-
	貸出条件緩和債権	令和4年2月末	-	-	-	-	-
		令和4年8月末	-	-	-	-	-
小計	令和4年2月末	575	196	205	173	575	
	令和4年8月末	584	190	228	165	584	
正常債権	令和4年2月末	36,457					
	令和4年8月末	37,387					
合計	令和4年2月末	37,033					
	令和4年8月末	37,972					

(注) 1. 令和4年2月末から令和4年8月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、8月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。

2. 債権区分は、次のとおりです。

①破産更生債権及びこれらに準ずる債権

・破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

②危険債権

・債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

③要管理債権

・④「三月以上延滞債権」と⑤「貸出条件緩和債権」の合計額をいいます。

④三月以上延滞債権

・元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものをいいます。

⑤貸出条件緩和債権

・債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

⑥正常債権

・債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

## 5. 単体自己資本比率

令和4年8月末	令和4年2月末
19.62%程度	19.39%

(注) バーゼルⅢを踏まえた新国内基準で算出しております。また、8月末は、当J Aの上半期仮決算データを基に算出しており、確定した決算に基づく数値ではありません。

## 6. 主要勘定の状況

(単位：百万円)

	令和4年8月末	令和4年2月末	令和3年8月末
貯金	190,158	191,848	189,193
貸出金	37,910	36,975	36,763
預金	130,452	133,356	131,155
有価証券	20,969	20,692	19,496
(参考) 購買未収金	802	632	759

(注) 有価証券は、2月末は時価評価後、8月末は償却原価後の残高です。

## 7. 有価証券の時価情報

[売買目的有価証券]

売買目的有価証券については、当J Aでは投機的運用を行わないため保有しておりません。

[満期保有目的の債券]

(単位：百万円)

種類	令和4年8月末			令和4年2月末			
	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額	
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	政府保証債	100	101	1	400	403	3
	社債	600	607	7	600	614	13
	合計	700	709	9	1,000	1,017	17

(注) 貸借対照表計上額は償却原価法（アモチ・アキュム）適用後、減損処理前のものです。

[その他有価証券]

(単位：百万円)

種類	令和4年8月末			令和4年2月末			
	取得価額	貸借対照表計上額	差額	取得価額	貸借対照表計上額	差額	
貸借対照表計上額が取得価額を超えるもの	国債	3,425	3,583	157	4,916	5,134	217
	社債	800	850	50	1,200	1,258	58
	小計	4,225	4,433	207	6,116	6,392	275
貸借対照表計上額が取得価額を超えないもの	国債	13,953	13,198	△ 755	12,159	11,711	△ 447
	社債	2,100	2,041	△ 59	1,600	1,587	△ 12
	小計	16,053	15,239	△ 814	13,759	13,298	△ 460
合計	20,279	19,673	△ 606	19,875	19,691	△ 184	

(注) 取得価額は償却原価法（アモチ・アキュム）適用後、減損処理前のものです。

## 8. 令和4年度下半期の取り組み

### 営農事業

- ・米全量集荷の呼びかけにより、安定した数量を確保することで販売先との信頼関係を構築し、早期販売による共通経費の削減に努めるとともに、積極的に宣伝・広告活動を展開してまいります。
- ・高品質麦の生産のための麦栽培講習会を開催します。
- ・販売営業グループにより、青果物の有利販売による更なる所得増大を目指し、市場・量販店・全農と生産者手取りアップのための契約条件の見直しを実施します。
- ・パッケージセンター運営では、施設の荷受状況を把握し稼働率の向上に努めます。また、出荷アイテムを検討し有利販売に努めます。
- ・青果物各品目で統一目揃会等を開催し、高品質な農産物の集出荷による販売額の向上に取り組めます。

### 購買事業

- ・令和5年産春肥予約取りまとめにおいて、「BBひとふりくん側条086」ほか2品目を対象に肥料価格高騰対策費を充当し価格抑制に努めます。
- ・水稻農薬・各園芸品目の予約取りまとめにおいても、近隣店舗の市況を踏まえた価格設定および全農との共同協議を実施し、生産資材の価格安定による生産コスト低減に努めてまいります。

### 信用事業

- ・組合員・利用者の人生設計に必要となる資産形成・運用ニーズに対し、より適切なサービスや金融商品の提案を行います。
- ・社会保険労務士による年金無料相談会を各支店で開催するなど、複雑な受給手続きのサポートを行います。
- ・営農経済担当部署と連携し、農業融資等に関する資金ニーズの把握と情報提供に努めます。
- ・ネットバンク・ネットローンの利用促進により、顧客利便性の向上と新規顧客の獲得を図ります。

### 共済事業

- ・日頃の感謝を込めて、3Q活動（1.ひと保障の請求もれ、2.いえの保障の請求もれ、3.ご家族におかわりないか）を実践し、全契約者・組合員への安心の確認と接点強化に努めます。
- ※活動の際には、皆様の「安全・安心」の為に、新型コロナウイルス感染防止対策を継続して徹底していきます。

### 福祉事業

- ・コロナ禍においても、利用者が元気に暮し続けられるように、感染予防と介護予防の取り組みを継続してまいります。
- ・市、町包括支援センター等と連携し、中重度者の積極的な受け入れとともに自立支援に取り組めます。

### その他事業

- ・JAくらしの活動を通じた地域コミュニティの活性化を図り、地域に必要とされるJAを目指します。
- ・広報誌、ウェブサイト、農産物直売所等や各種メディアを活用した情報発信に努め、JA事業の理解促進に取り組めます。
- ・総合事業展開による組合員ニーズへの対応と、地域社会の活性化への貢献を実現するため、財務基盤の強化に取り組めます。

『以上のような取り組みを行うとともに、今後も経営の  
透明性・健全性・信頼性のさらなる向上に努め、組合員・  
利用者の皆様のご期待に応えて参ります』



はが野農業協同組合